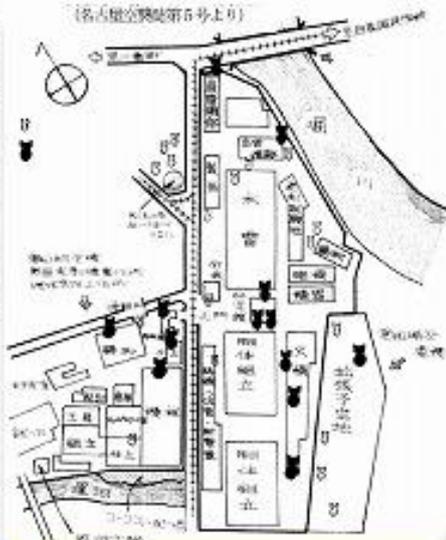


8分間で2000人以上が犠牲に!

# 米軍資料からみる熱田空襲

一衝撃の事実が明らかに

講師  
各務ヶ原市空襲資料室調査員  
**福手一義さん**



当日は250kg爆弾の  
模型なども展示します!

日時 **5月24日(土)** 13:30~16:00  
開場 13:00  
会場 瀬戸市文化センター 12会議室  
参加費 300円 (大学生以下は無料)



講演会当日、会場に瀬戸市  
在中の鈴木守さんが作成され  
た250kg爆弾の模型を展示  
します。熱田空襲で大量に投  
下され今でも不発弾として市  
民を脅かしている爆弾です。

P9 に福手さんの関連  
記事があります。  
ご参照ください。

お問い合わせは寺脇まで  
TEL 0572-23-5899  
または 090-6575-4370  
Eメール  
tera-m@ob.aitai.ne.jp



瀬戸地下  
軍需工場  
跡を保存  
する会

## 会報

NO.186  
2025年  
5月5日

瀬戸市分町64-1  
瀬戸市職労組 事務所  
0561-84-4760  
fax 84-4767  
郵便振替口座番号  
00820-9-105120

## 連絡先

事務局  
梅野  
090-3837-7050  
寺脇  
0572-23-5899  
fax 同上  
携帯  
090-6575-4370  
Eメール  
tera-m@ob.aitai.ne.jp



ありがとう

ございました!

2025年度  
会費およびカンパを頂いた方

瀬戸市	富田孝正さん	2000円
瀬戸市	瀬戸市職員労働組合	2000円
春日井市	熊谷達也さん	2000円
春日井市	作道瑞絵さん	2000円
春日井市	大里 豊さん	2000円
東京都	東海林次男さん	2000円
2025年4月28日現在	会員	158名
		+0-0

# 報告 春の戦跡亦巡り2025 関ヶ原の東洋一の火薬庫跡と古戦場巡り



火薬庫入口道路沿いにある当時営門の一部

3月30日(日)保存する会恒例の「春の戦跡巡り」で今回は東洋一の火薬庫である関ヶ原玉の火薬庫と古戦場巡りを行いました。参加者は24名で今回、初めて参加された瀬戸市の方も多数みえました。火薬庫は1916年(大正5年)名古屋陸軍兵器補給廠関ヶ原分廠として開設されました。山腹に開いた本洞窟火薬庫が5棟と地上の火薬庫を含め220haにも及ぶ広大なものです。午後からは関ヶ原古戦場を巡りました。(寺脇)



半洞窟火薬庫

左内部



本洞窟火薬庫(下)は半洞窟火薬庫に比べて奥行きがほぼ2倍の24m。横幅は7.5mです。半地下式は大きな建物の中にあり、戦後スケート場の施設として利用されていました。洞窟火薬庫の内部はコンクリートが木製の枠に支えられていました。(下の写真)



右の写真は床下のような



洞窟・半洞窟とも、魔法瓶のように火薬庫の周りを人が一人通れるぐらいの通路が設置され床下はコンクリートの柱で支えられていました。



寒風の中ごくろうさまでした



## 参加者のみなさまのご感想

・大西と申します。今日はたいへん楽しい一日でした。昔の人の技術は現代の人よりか、心がこもっていて、たいへん感心しました。また機会があったらお誘いください。ありがとうございます。

・今日は初めて参加させていただきました。運転手の方もたいへんだと思っただけですが、本当にありがとうございます。また機会がありましたらお願いします。

・私は今回で2回目ですが、とてもくわしくいろんなことを説明してもらえてすごく充実しています。去年もとてもよかったです。また来年も楽しみにしているのでお願いします。

・名古屋の天白からきた大里です。今回初めて参加させてもらって私の知らない世界ばかりでいろいろ充実した見学会だったと思います。ありがとうございます。

・私は初めてこのバスに参加させていただきました。もうちょっと歩かないようなコースがよろしいかと思えます。

・今日初めて参加した桜井ですが、知らないことをいっぱい教えてもらってすごく勉強になりました。また誘う機会がありましたらうれしいです。ありがとうございます。

・初めて参加させていただきました山本瑞樹と申します。関ヶ原がこんなにたくさん歴史のなようすがあることを今回初めて知ることができました。ありがとうございます。

・私も今回廻ったところは生まれて初めてきた感じでまだまだ日本には興味深いところがあるんだなということに気づかされました。久々に遠足にきた気分ではこれぐらい歩くのがちょうどいいなと思

って参加させてもらいました。どうもありがとうございます。

・ヘビーユーザーの山田と申します。たぶん毎年参加していて十年ぐらいいついています。今日の玉弾薬庫は実は3回目なんです。やっと3回目にして少し分かってきました。私は歴史が好きなので戦争遺跡の専門家じゃないですが、ああいう穴ばかり見つけていて豊田市の八並というところに弾薬庫の跡があつて今日の規模ではないんですけど30か所ぐらいいついているところ。こと今年1月に見つけてきたんですけど、穴はみんなつぶれていてないんです。ところが弾薬を入っていた木箱があつて、今日は私は一人で民族資料博物館に行つてました。そこに弾薬を入れた木箱が展示してあつて、見てきました。あと火薬は木箱だと湿気るなど思っていたら銅製の容器があつてそこに入っていたということでした。また機会があったら紹介したいと思います。

8月に講演会をするのでよかつたら来てくださいます。

寺脇 山田さんの講演会は8月2日の土曜日に瀬戸市文化センターで行います。

・2回目参加の増田です。火薬庫の保存状態が思ったよりもすごく良くてびっくりしました。廃墟でポロポロになつてくるかもしくは穴の中に入つてもなんだか分からなくなつてると予想していたら、そのまま保存されていたのがすごいと思いました。

・竹内と言います。初めて参加しましたけれど、いろいろたくさん説明を聞いてとっても勉強になりました。ありがとうございます。

・若杉です。初めて参加させていただきました。広報で3000円で関ヶ原まで行けると思つて来ました。みなさんとても良いひとばかりで、こういうグループもあるんだなということを知つたような気がします。また良いところがあったら行かさせてもらいます。今日は一日ありが

とうございました。

・初めて参加した伊藤です。ありがとうございます。水野の地下軍需工場跡に9年前に参加させていただいて、この保存会を知りました。それから毎回会報を頂いていて今回も面白い試みだと思つて参加しました。ただもう少し若い世代の方が入られると、どんなに良いだろうかと思つております。ありがとうございます。

・玉の弾薬庫は想像以上の規模でびっくりしています。合戦跡は前も一回自分一人で回ったことがあります。今日はちよつと寒くて大変でした。今日はどうも幹事さんご苦労様でした。関ヶ原は初めてなんですが、けつこう見ごたえがある一日でした。どうもありがとうございます。

・個人では行けないようなところに行けて本当に楽しかったです。ありがとうございます。

・関ヶ原に弾薬庫があるということを知らなかったのも、そのことを知ることができたということとなかなか入れないようなところに入れたことがとても良い体験になりました。自宅に帰つて子供たちにも聞かせたいと思います。どうもありがとうございます。

・加藤です。今回初めて参加しました。古戦場巡りがとくに関ヶ原で印象に残りました。ありがとうございます。

・今日はどうもありがとうございます。天気も良く前半だけはなんとかついて行けました。東洋一の弾薬庫の見学で案内いただいた岩津隆之さんのご高齡にも関わらず非常に熱心にまた誇りを持ってご説明いただいた姿に感銘を受けました。昨年も田原の戦跡巡りに参加して今年で2回目ですが、またこのような企画がありましたら参加させていただきたいと思えます。事務局の方にお疲れさまでした。ありがとうございます。

以上

# 屯鶴峯（どんづるぼう）地下壕見学



どんづるぼうは、奈良県大阪府の境にある二上山の北部に位置する 1500 万年前の火山活動によって噴出した凝灰岩を中心とした地層で県の天然記念物にもなっている景勝地。4月21日 NPO 法人「平和のための香芝戦争展」の西嶋さんらのご案内で保存する会の会員の Y さんとともに見学してきました。今回は、駐車場からどんづるぼうを越えてのアプローチで西壕と地上



の遺構をたどり、全体の関係をよくつかむことができました。案内いただいた方々、ありがとうございました。（寺脇）

どんづるぼう地下壕とは（平和のための香芝戦争展発行の西壕関連調査報告書より引用）太平洋戦争末期、旧陸軍が本土決戦に備えて、屯鶴峯の地で巨大な軍事目的の地下施設の建設を推し進めた。東壕と西壕とよばれるふたつの壕が隣り合う山峯の凝灰岩の地層に格子状に掘られており、合計の総延長が2 kmにも及ぶ巨大な地下壕であるが、建設途中で終戦を迎え実際に使われることはなかった。

1945年4月現実味を帯びてきた本土決戦で徹底抗戦を考える旧陸軍は、陸軍航空部隊の統一を図るため「陸軍総軍」を設置し、その配下に地下施設の建設を行う「地下施設隊」を編成した。

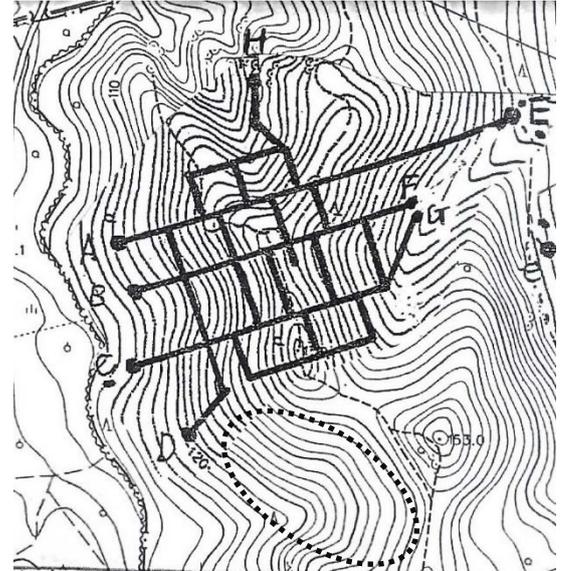
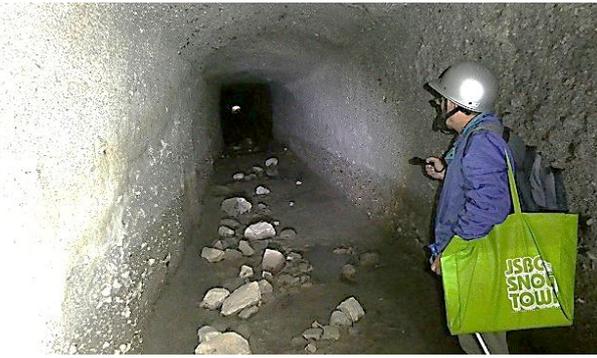
東壕については「第19下施設隊」が奈良県香芝の拠点に分宿して掘り進められたとの証言がある。西壕については大阪府太子町の近隣の小学校等に分宿して現場へ掘りに行く姿を見たとの証言を得ることができた。（中略）

屯鶴峯地下壕の目的は現在の大阪八尾市にある大正飛行場（現八尾飛行場）とのつながりが深いと考えられている。航空総軍の通信網整備方針文書には、航空交換所に「大正」と並んで「屯鶴峯」が記載されており相互利用を図るものと記されている。

②吉川好胤氏(奈良教育大)作成



坑道口EからまっすぐにAの入口が見える。100m以上



坑道口F(右)とG(左)の中には水が溜まっている。



この地下壕には多くの人工物があり、とくに左の枕木状の材木が所々で見かける。トロッコの枕木にしては大きい。鉄くぎやかすがいもあり。

J通路(一番南にある通路)の途中にある棚のような構造。天井に18cmほどの垂直穴がある。



坑道口Dに向かう急傾斜の通路。階段状に床面が削ってあるところがある。

上図で坑道口DはA、Cの口に比べて高くなっていて、その南東部の谷あい斜面一体(図の点線部)にレンガやタイルなどの人工物が散乱し、トイレ跡(右)などもみられる。



上図の点線部の南側斜面には5か所の土塁で囲まれた掩体があり、中にはコンクリートが敷かれているところもある。



# 「被爆体験伝承者 船津晶子さん」⑤



昨年、6月29日(土)文化センターで、保存する会主催で広島から被爆体験伝承者の船津さんのお話をお伺いしました。その内容を掲載しています。今回は5回目。

(寺脇)

前号から

今から急性障害をみていきたいと思えます。外傷なんかは先ほどガラスが突き刺さったとか、教室の下敷きになって圧死したとか、爆風で何メートルも飛ばされて何かにぶちあたって即死するとかいうこともあったと思います。外傷、やけど、吐き気(むかむかする)、だるい、だんだんと下痢、吐血、

血尿、血便。そして発熱。だんだん熱が高くなって口内炎。血液の異常。紫色の斑点ができるというようなことが起こってきました。これは8月6日からその年の12月までが一応、急性症状が出終るぐらい。次の年からは後障害が出る。これは白血病、佐々木貞子さんの話が有名かと思えますが、2歳で被爆して12歳で白血病になった。小さければ小さいほど放射線の影響が強いんです。というのは細胞分裂が活発なので、染色体に異常が出る確率が高くなるので、佐々木貞子さんだけでなく、たくさんの子どもが次から次に白血病になっていったんです。だから「原爆の子」という像ができていったわけなんです。戦争や原爆で犠牲になった子どもの霊を慰めるために。

熱線のためのやけどがありますが、放射線被曝ですと皮膚の基底部まで放射線で作られているので移植手術をしてもまたケロイドになる。顔面やけどして、きれいに整形手術したいと思っても、なんと手術してもまたということがあったようです。

あと目の病気。原爆の白内障とか、妊娠中のお母さんが被爆するとお腹の中の赤ちゃんも被爆してしまい発達障害がありました。発達が遅れて出て来るとか言うのがありました。

広島市の地図がありますが、山で囲まれた平地というのは広島が良かったから選

ばれたと言われていますが、みなさんにお渡ししたハンドブックにも、なぜ広島に原爆を落とされたかということが書いてありますが、原子爆弾を落として効果的に広島全域を壊すことができるだろうということとで、ちようどいい距離があったんです。だから原子爆弾を落とす候補として広島は一度も落ちていませんでした。第1候補です。だから(事前に)「広島に爆弾を落とすな」という命令が下っていました。壊さないで置いて、原子爆弾の威力を試したかったのかなと思われれます。アメリカはもちろん、そんなことは言いません。当時広島には35万人いただろうと言われていきます。それこそ軍都広島だったので全国から集められた兵隊さんもいただろうし軍属と言って軍の関係の仕事をしていた人たちもいたんです。当時は大日本帝国憲法下で大陸の方まで進出、侵略という言い方もありますが、母国の言葉を奪われた朝鮮半島の人たちが名前を変え、自主的に働いて来た人もいますが、強制的に連れて来られた人もいます。広島の中に日本人として原爆にあって亡くなっていた人がいます。日本人だけが原爆の犠牲になったわけではありません。朝鮮半島の人、中国の人、東南アジアからの留学生。ドイツ人の神父さん。アメリカ軍の捕虜。捕虜収容所はありませんでしたが、呉空襲ときに落とされた捕虜で、原爆にあって亡くなっています。

爆心地は相生橋と言ってアルファベットのTの字になっていて、上空9600mでB29、エノラゲイ号が目視で落とすなさいという命令があったので当日、雨や曇りで見えなかったら広島には落とされていません。これを目で見て確かめてからスイッチを押して落とす。原爆ドームは相生橋から150m、島病院まではそこからまた150m。目標の相生橋からたった300mしか離れていない。すごく精密な爆撃ができています。それは、パンプキン爆弾というものを日本の各地に落とすとして爆弾を落とす練習をしている。動いているところから放物線を描いて落ちるわけだから動く距離もあるし、風向きだったり、飛行機の速度だったりするので特別なミツシヨンを組んで、その戦闘員が訓練を重ねて広島に落としているんです。

広島は原爆はリトルボーイと呼ばれていてウラン、長崎型はプルトニウムです。当時35万にいたとされていますが、14万人±1万人が被害にあったと言われていますがそれには後傷が入っていません。急性症状が治まるころの被害ですが、正確な数は分かっていません。

爆心は島病院の上空600mで地面に落とされたわけではありません。なぜだと思えますか？

「範囲を広げたかったから。」(会場 学生)

そうですね。しつかりカバーしてたくさん被害を与える。(会場 拍手)

それで爆心地周辺では、瞬間的には3000℃から4000℃です。爆風は秒速280mです。瞬間最大風速が50mというような大きな台風があるとすると、その5倍。ここに広島城があります。軍官司令部があったんですが、この広島城が一瞬で倒されたそうです。堀があるせいか、燃えなかったんですが、バンて倒されて、燃えなかったせいで、後からバラックを建てる材料になったという話もあります。ここにたくさん川があり、赤い印があるのは、全焼・全壊地域。そんな風に瞬間ですが3000℃から4000℃あって、ものすごい勢いで家がボタンと倒されると朝のご飯の用意をしていたかまどもあつたらうし台所から出る火もあり、自然発火した電柱とかいろんなものに火がつき、中心部から延焼していき、その日、1日中、最高は3時ごろだったそうですが、だんだん延焼していけば3日後までくすぶっていたところもあり、山の木も燃えたという話を聞きました。

そうやってたくさんの方がやけどをしますよね。そしたら水のところに入りますね。そうしたらたくさんの方が浮かんでいて川の水は満潮とか干潮を繰り返すのでたくさんの方が浮かんで、引いてはということがあります。いつもは伝承講話で

は言わないんですが似島(にのしま)というところに検疫所があったんです。大陸に兵隊を送るでしょ。そうしたら大陸の方から、帰ってきたときに、流行病(はやりやまい)を持ってこられてはいけなから医療施設が似島にあったんです。似島に兵隊さんがいて、そこは被爆を受けていなかったの、救援にすぐに行ったんです。そうすると川を使って爆心地方面に行つて、まだ生きている人を似島に運んでいたり、たくさんの方がなくなっているから川のところで重くて火をつけて焼く。そういうことをしたんです。どれがだれの遺体であるか、遺骨であるかは、なかなか分からないんです。

光雄君のその後は、8月6日に家に帰つて来て、三日三晩、死んだように眠り続けました。一週間後、急性症状が出始め、髪の毛が抜ける。最初は微熱で

「体がだるい！体がだるい！」でしたが、だんだん高熱になり、歯茎とか、鼻と目から涙じゃなく血が出る。耳からも血が出る。鼻血とかは普通にあるかもわからんですが、血便で下痢。血尿が出るし、紫色の斑点が出たり、もう42℃の熱が出たりしてお医者さんから見放されてしまうんです。棺桶を用意しなさいよと言われてさうです。でもお家の方は、そうですかとは行かないで当時、原子爆弾とは言っていないでし

た。広島の人達は、「ピカ」と言っていていました。「ピカ」と光ったから。すごく近くの人は「ピカ」しか知りません。気を品つてるから。少し離れた人は「ピカ、ドン」。うちのおばあちゃんは「ピカ」と言っていました。「ピカ」しか知らないから。

その当時、うわさがありました。「ピカには毒があるんじゃないか！」じゃあ毒があるのだったら、毒を出せば良いんじゃないかということ、ドクダミを煎じて飲ませた。そして光雄君は、壊れた校舎から起き上がるたびに、五寸釘が当たったです。そこが化膿すると、ドクダミの葉をもんで焼いてドロドロにしてシップの様に貼って貼って、良くなったそうです。

いろんなことでお母さんに介抱してもらって、最後はお医者さんもあてにならないんだったら、お百度参りをするとか、そういうことで家族の介護を受けることができませんでした。でも光雄君の友だちに限りません。当日、動員されていた女学生など、例えば私の知ってる被爆者のおねえちゃん、「朝、行ってきます！」と言って、帰って来ない。消息がまるでわからない。どこで亡くなったかも、どこかで救護されているかもわからない。もしたら、家族の人が毎日、毎日、探しに行くんです。いろんな救護所に。似島まで行きました。中心部

が焼けているから四方八方に逃げて行ってるんです。お寺であるとか、小学校であるとか、病院であるとか。そういうところを訪ね歩くんです。だから、その当時、放射能のことは判ってないですから、親御さんも被曝するんです。

これを言っちゃあ、光雄さん、ごめんなさいと思うんですが、光雄さんは家まで帰りついて家族の看病を受けることが出来たことは、ありがたいことなんだと思います。9月に入って奇跡的に熱が下がって回復に向かいました。10月には枕崎台風というものすごい大きな台風がきました。日本全国なめるように被害を与えた枕崎台風、広島でもものすごい被害が出ました。全国で6千人ぐらいの死傷者が出たはずなんです。広島で2千人ぐらい亡くなったと聞いています。その枕崎台風のとき、やっとヨロヨロ立てるようになった足で水浸しになった自宅周辺を見たそうです。次の年の4月には中学2年になることができました。3百名いた一中一年生で二年生に進学できたのは19名。19名でも児玉光雄さんは88歳まで生きて被爆者の体験を証言続けたんですけれども19名の中で16歳で野球部ですごく元気だったのに鼻血が止まらなくて亡くなっていった友達。22歳で大学4年生で卒論も出

し、就職も決まっちゃあというときに、白血病で亡くなった人、32歳で結婚して子どももいて奥さんもいて、さあ今から、というときにまた白血病で亡くなる。40何歳で、50何歳で、というふうには19人がどんどん減っていくわけです。

あるとき、いつもいつも慰霊祭に出たわけではないと思うのですが、この児玉光雄さんが7月の終わりに慰霊祭がるときに、まだ児玉さんの親御さんが生きておられる時代の慰霊祭で、慰霊祭が終わった後に同窓会館のようなどころで茶話会があるんですが、同級生の親と顔を合わせるのがとってもいやだと言っていました。あるとき光雄さんに向けて「あんたは、どうして生きとるん？」と言われた。それを投げかけられたときに、「すいません申し訳ない」という気持ちになるじゃないですか。だから同窓会や慰霊祭に出なきゃいけないと思うけど遺族とくにお母さんに会うというのがつかかったと言われます。でもそれはご自分の証言会の際にはけっして言われなかった。私たちのミーティングの中で聞いた話です。

(次号へつづく)

# 奇跡の出会い 驚きのあまり声を失った

郷土史家 副手一義

私が戦争関係の調査をしていることが新聞、テレビ等で報道され多くの方に知れ渡った、平成27年9月「見て頂きたいものがあります」と電話がありました。連絡を受けた農家の軒先に行くと、屋根裏部屋から降ろされたばかりのジユラルミン製の部品を見せられました。

その途端、驚きのあまり声を失いました。戦時資料に関心があった私には、一見してそれが何なのか判別できたからです。所有者からこの資料を各務原市に寄贈していただきました。私は、この部品が戦闘機の一部であると確信していましたが、さらに特定機種のものではないかという期待を持っていました。詳しく調べていくと、その勘は的中し、旧陸軍三式戦闘機「飛燕」キ61のプロペラスピナーとエンジンカウリングであることが判明しました。

飛燕とは、第二次世界大戦中、各務原の川崎航空機工業で組立生産された、当時、日本で唯一の液令式エンジンを搭載した戦闘機です。この機体は約3000機が生



屋根裏部屋から降ろされた直後の飛燕戦闘機部品  
暗い部屋と埃が退色を防いでいました

産されていながら、戦後に処分されてしま  
い部品ですらほとんど残されていません。  
飛燕の部品が、地元に残されていたことは  
奇跡に等しいことです。カウリングの裏面  
には「331」というロット番号が記され  
ており、飛燕1型のものであることが分か  
ります。表面には濃緑色の塗装が鮮明に残  
っています。オリジナル塗装が良好に残る  
資料としては、世界的にも例がないと思わ  
れます。カウリングの表面には、当時の最  
先端技術である「沈頭鋸」と呼ばれるリベ  
ット接合が認められます。



陸軍三式戦闘機 飛燕

この接合技術は三菱航空機の平山技師  
によって確立されたもので、機体表面にリ  
ベットの頭が飛び出さなくすることによ  
って空気抵抗を減らすよう工夫されたも  
のです。まさに、日本人ならではの職人的  
な拘りとして評価される技術ではないで  
しょうか。

各務原で行われていた「物づくり」の最  
先端技術を垣間見ることのできる貴重な  
資料です。

2025年2月23日

各務原市鵜沼大伊木町

# 写真で観る晴嵐 28号機修復の全貌 第19話

愛知航空機研究者・渡辺哲国

## 19. 欠品の多い晴嵐 28号機の計器板

前述の如く、28号機は永く屋外保管された為、多くの計器類が紛失し、計器板は虫食い状態であった。幸い、PEGFは多くの日本機計器を所有しているが、晴嵐は軍機扱いで資料が少なく、装備計器の詳しい情報は皆無であった。そこで、愛知航空機のOB会「愛航会」から、下記の資料を提供し、解決に至った。

- ・晴嵐搭載兵器一覧表（昭和19年5月、愛知）
- ・航空機用計器装備覚（昭和19年3月、海軍航本本部）
- ・M6A1 取説写真集

参考)

「海軍機航空計器設定のルールと仕組み」

### 1 「海軍航空機用計器装備標準」

海軍機の航空機用計器の装備については、昭和十一年内令兵第四十二号別冊「海軍航空機用計器装備標準」という規格があり、計器装備標準表、計器配列標準、計器名称、諸計器標準寸度外筐、諸計器標準寸度取付ねじ及び座金などが規定されている。

昭和11年当時は木金混合の複葉機から全金属製単葉機への転換期であり、計器も進化しているが、この標準が基本となり逐次改良されている。

昭和13年の内令第四十五号にて改正が行われ、改正部分の別冊が発行された。

参考)

この規格はNARAから入手可能である。

R2425 F129

### 2 「計器装備標準表」

機種毎に装備する計器が規定されている。更に操縦席、偵察席、機関席、同乗席などに区分して各々の計器が定められている。

#### ① 陸上機の部

- ・初歩練習機 ・ 中間練習機
- ・機上作業練習機 ・ 中型攻撃機
- ・大型攻撃機

#### ② 艦上機の部

- ・戦闘機 ・ 爆撃機
- ・攻撃機 ・ 偵察機

#### ③ 水上機の部

- ・初歩練習機 ・ 中間練習機
- ・観測機 ・ 偵察機小型
- ・偵察機二座 ・ 偵察機三座
- ・夜間偵察機 ・ 小型飛行艇
- ・中型飛行艇 ・ 大型飛行艇

### 3 「計器配列標準」

一般標準、初歩練習機、単座機、二座機、三座機、二座並列操縦席に区分され、更に固定機銃の有無で配列を変更している。

一般的な計器としては、

- ・磁気誘導羅針儀針路指示器
- ・旋回計 ・ 水平儀 ・ 速力計
- ・昇降度計 ・ 前後傾斜計 ・ 羅針儀

が定められている。

### 4 「計器装備標準表」

機種毎に航空計器、動力計器、航法計器、その他の計器が型式で定められている。

#### ① 航空計器

- ・高度計 ・ 精密高度計 ・ 速力計
- ・ピトー管 ・ 電熱式ピトー管 ・ 航空羅針儀 ・ 磁気誘導羅針儀 ・ 水平儀 等

#### ② 動力計器

- ・回転計 ・ 燃料計 ・ 油圧計 ・ 温度計
- ・吸気温度計 ・ ブースト計 ・ 筒温計
- ・混合比計 ・ 排気温度計 等

#### ③ 航法計器

- ・偏流測定器 ・ 的針測定器 ・ 針路航程盤
- ・偏流方位測定器 ・ 航法計算盤 ・ 気泡六分儀 ・ 航法図板 ・ バイグレーブ計算尺 等

#### ④ その他の計器

- ・自動操縦装置 ・ 酸素吸入器 ・ 着水高度警報器
- ・燃料警告灯 ・ 真空ポンプ ・ 圧力計 等

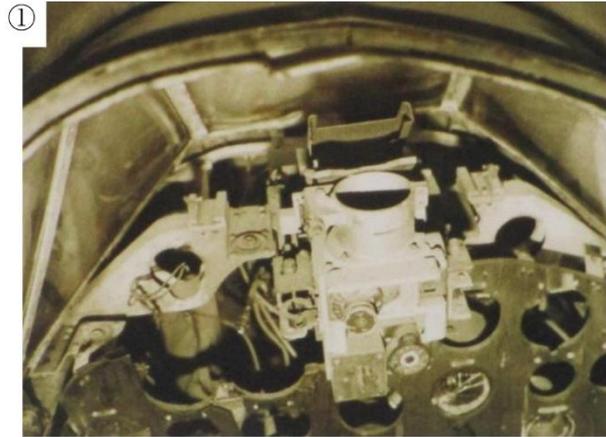
### 5 「計器配列の審査と決定」

搭載する計器と配列(配置)は、

下記のステップで審査され、改良(設計変更)される。

- ①「海軍航空機用計器装備標準」に従い設計される。
- ②「計画説明書」に掲載され審査を受ける。
- ③「木型審査」で現物確認し審査。
- ④試作機組立途中の「構造審査」で現物確認し審査。
- ⑤「完成審査」で現物確認し審査。
- ⑥「飛行審査」で飛行中の視認と操作で審査。
- ⑦「実用性審査」で実施部隊の視点から審査。
- ⑧実施部隊からの要望で改良、設計変更。

次号へつづく



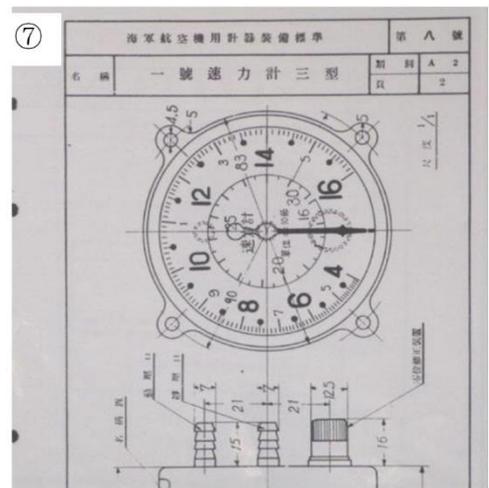
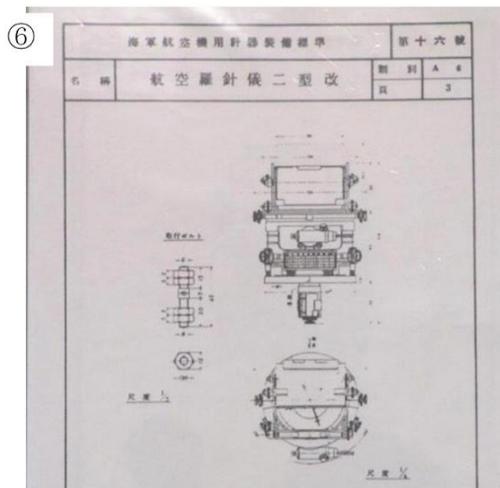
① ② 欠品の多い晴嵐 28号機計器板



③ ④ 取説写真の計器板



⑤ PEGFで所有している日本機の計器の一例



⑥ ⑦ 「海軍航空機用計器装備標準」の一例

# みなさまからのメッセージ とインフォメーション

ありがとうございました！

瀬戸地下軍需工場跡を保存する会 寺脇様

愛知大学文学部生のSと申します。先日は愛知大学でのご講演ありがとうございました。

この度お話を聞くまで私は瀬戸に軍需工場が存在していたことを知りませんでした。総延長4キロメートルにも及ぶ巨大な地下工場が愛知県に造られていたことにとっても驚きました。寺脇さんが私たちに見せてくれた軍需工場の地図は日本で作成されたものではなくて米軍が作成したものだったのです。瀬戸においては空襲による犠牲が少なかったとしても、今日に至るまで地方自治体や国が戦争の痕跡の保存に向けて積極的に動く姿勢がないことをとても残念に思います。むしろこのような消極的な姿勢を見るにつけ保守系の自治体当局や政府は戦中に朝鮮人や学生たちを掘削や勤労働員に駆り出していたとことを抹消すべき戦争の痕跡のように思っているのではないかと私は感じました。

戦後80年の今年、戦争を体験された方、遺族の方たちが後世に戦争の記憶を継承していくために身を粉にして頑張っている姿に私は叱咤される気持ちです。同時に寺脇さんがおっしゃっていたように戦争の記憶を後世に伝える講演会を学校で行うことが政治的であるとして排除される世の中になってきていることに危機感をおぼえます。

今年には戦後80年であり、治安維持法から100年でもあります。反戦運動への弾圧がおこなわれている今日は新たなファシズムの時代だと感じます。私たちは不屈に立ち向かい続けるつもりです。

寺脇さんの話は早速友人にも紹介しました。寺脇さんの頑張りを励みにして私たちも戦争・貧困・圧政のない社会をめざして頑張ります。ありがとうございました。

4月16日(水)愛知大学(豊橋市)で瀬戸地下軍需工場跡を保存する会の35年間の活動報告をさせていただきました。



## 編集後記



2025年の今年には戦後80年であると同時に、「保存する会」1990年に発足して35年が経つ年でもあります。大戦末期のわずか半年しか活動していない「地下工場」のことを35年もやっていることになります。この年に自分では新しい証言記録集を出したいと思っても実際は手が付けられずにいる、初代会長の矢野さんの偉大さを改めて感じる毎日です。ただ書籍じゃなくてDVDだとそんなにむずかしくないかと苦戦中です。あと、昨年来てがけている「戦跡保存の保存・継承」について現在、瀬戸市議会議員の皆様へ質問のお手紙を差し上げたので、その返答を楽しみに待っている毎日です。皆様からのご意見もお待ちしております。

2025, 5.1. (T)



4月29日(火)豊田市の平和団体の第23回平和リレー講座で16名の皆さまをご案内しました。午前には水野の地下工場跡地を午後からは天皇統監所碑、陶製梵鐘を見学しました。地下工場跡地付近は滑りやすい急斜面にやはり苦労されているようすで、整備を必要性を感じました。また地域を案内する上での基礎の乏しさを実感しました。(寺脇)